

第10回 教育施策連絡会 会議要録

日時	令和4年3月28日(月) 15時30分から16時45分
場所	小平市役所600会議室
出席者	川上教育部長、国富教育指導担当部長、市川教育総務課長、飯島学務課長、中村教育施策推進担当課長、早川小学校長会会長、屋代小学校長会副会長、井口小学校長会副会長、関中学校長会副会長、堀井中学校長会副会長、松田指導主事、豊田指導主事、坊本指導主事、吉田(指導課長補佐) 計14名
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> 小平市立学校版感染症予防ガイドライン(新型コロナウイルス感染症)令和4年4月4日版 GIGAスクールの活用プラン(案) 自閉症・情緒障がい特別支援学級の設置に向けた開設準備委員会について(案)

1 挨拶 (川上教育部長)

・新型コロナウイルス感染症について

新型コロナウイルス感染症に取り組んだ一年だった。特に、3学期に中学校で集団感染が発生し、学年閉鎖を行った。1、2月で、児童、生徒、教職員、委託業者含め学校内で千人程影響があった。濃厚接触の特定についても対応に追われる状況となった。また、学校においても行事を中止せざるを得ない状況となり、残念であった。

2 (1) 情報交換・意見交換等(共通事項)

① 小平市立学校版感染症予防ガイドライン(新型コロナウイルス感染症)の改定について(案)

(松田指導主事)

→小平市立学校版感染症予防ガイドライン(新型コロナウイルス感染症)令和4年4月4日版
(主な変更点)

令和4年2月28日に市議会で採択された請願を受けて、マスクの着用の取扱について、2枚目裏面の「3 密接の場面への対応(マスクの着用)」にすべて集約することとした。

- ・ P2の給食については、これまで「会話を控える」としていた。文科省ガイドラインでは「大声での会話は控える」となっており、東京都の通知では「黙食」となっている。大声の判断は難しいが、どのような表現がよいか。(飯島学務課長)
- ・ 現場としては、黙食が望ましい。(四中：関校長)
- ・ 大声とは、どの程度までよいか、線引きが難しい。(六小：屋代校長)
- ・ 請願では、市のガイドラインが国に比べ厳しいとのことだった。現場で指導するに当たっては、わかりやすい方が良いが、東京都が発出している通知も参考にしようか。

(川上教育部長)

- ・ 現場での指導を考えると、どちらともとれる表現よりも黙食の方が指導はわかりやすい。学校現場はガイドラインに基づいて指導している。「原則、黙食」とした方が、いいのではないか。(十三小：早川校長)
- ・ 感染者が出た時に、会話していたかなどが主な確認事項になってくる。学校では、話をさせないというのがいいのではないか。(花南中：堀井校長)
- ・ マスクの取扱について、国の方針と違うことはない。着用できない子どもや常に着用することに不安や不調等を感じる子どもに対して、咳エチケットを注意するなど、市教委で統一した記載にしたいと考えている。

(国富教育指導担当部長)